

IV 住替え支援事業

住替え支援に関する事業・制度等の検討

【目的】

本協議会における取組み内容、市（行政）との役割分担や、空き家、中古住宅流通の促進も踏まえながら、どのような住替え支援を行っていくべきか調査・検討を行い、具体的な仕組みの構築へつなげていくことを目的として検討した。

【概要】

▶調査検討として、先進自治体による事例調査を実施

<先進事例① 広島市>

- ・住宅団地における住替え促進モデル事業（子育て世帯を対象にリフォーム費や家賃への支援）
- ・三世帯同居・近居支援事業（子育て世帯を対象に引越し費用や登記費用等への支援）
- ・地域コミュニティ活性化補助金（自治会等を対象に地域の活性化に資する取組みへ支援）など

<先進事例② 堺市>

- ・泉北ニュータウン住まいアシスト補助（若年夫婦又は子育て世帯を対象に家賃への支援）
- ・公社団地の住戸リノベーション（2戸1のリノベーションプランなど）
- ・戸建て住宅の住戸リノベーション（リノベーション協議会による連続講座、住まいの安心セミナーなど）など

▶大妻女子大学地域連携プロジェクトとの連携による子育て世帯のニーズ調査やPRイベントの実施

実施時期	取組み	内容	備考
H29.9.17	永山フェスティバルへの参加	子育て家族を対象としたミニワークショップ、パネル展示等	
H29.10.1	子育て家族の住まいと住環境に関する調査(アンケート調査)	市内認可保育園、認定こども園の在園児の保護者を対象	裏面参照
H29.10.10 H29.10.12	〃	公民館での子育て世帯向けイベントでのアンケート調査の実施	「ママのための子育て講座」「あそびとつどいの広場」
H29.10.14	子育て世代と学生によるワークショップ(1回目)	子育て世代の居住・住替え支援をテーマとし、子育て世代の居住意向を把握するとともに住替えなどのアイデアづくりを実施	
H29.12.2	子育て世代と学生によるワークショップ(2回目)		
H30.1.23	ワークショップのまとめ報告会	「多摩市の活性化に向けた提案」 学生が4グループに分かれ提案 『新たな交通手段レンタサイクル』 『乞田川のリニューアル』 『多摩中央公園の改造』 『多摩中央公園カフェ計画』	
H30.3.24	大妻女子大学において地域連携プロジェクトの報告会(予定)		

子育て家族の住まいと住環境に関する調査（報告）

調査時期：平成29年10月

調査方法：質問紙調査 保育園・子ども園を通して調査票の配布、回収を行った。

調査対象：多摩市内の認可保育園および子ども園 全23園（子ども園5園を含む）

23園に通う園児（定員2,742名）の保護者 世帯単位（兄弟姉妹のいる場合）で配布。

回収状況：配布数 2,176票、回収数 802票（有効回収率 36.9%）

結果の概要（速報値）

1. 回答者の属性：30歳未満8.6%、**30歳代62.9%**、40歳代28.3%
2. 回答者の属性：男性7.9%、**女性92.1%**
3. 家族人数：4人46%、3人33%、5人14%
4. 家族構成：**夫婦と子ども88.1%**、自分と子ども4.2%、親と夫婦と子4.0%
5. 最寄り駅：多摩センター34%、聖蹟桜ヶ丘23%、永山34%、唐木田6%
6. 最寄り駅からの徒歩での時間：**10分以内43%**、～15分29%、～20分16%
7. 保育園までの所要時間：**10分以内78.7%**、～20分9.8%
8. 保育園までの交通手段：自転車39.1%、徒歩25.4%、自家用車31.4%
9. 回答者の通勤先：多摩市内38.7%（自宅2.9%を含む）
パートナーの通勤先：多摩市内14.8%（自宅2.4%を含む） cf.配偶者なし4.2%
10. 家事の分担：**回答者78.1%**、均等10.0%
11. 現住宅のタイプ：**マンション（共同住宅持家）42%**、戸建て持家30% **→持ち家率72%**
賃貸マンション14%、UR公社の賃貸7%
12. 住戸のタイプ：3LDK40%、4LDK以上・その他28%、2LDK・3DK21%
13. 入居時期：2013年以降入居55%、2008～2012年25%、2003～2007年10%
14. 住まいの選択（重視したこと）：価格、間取り、広さ、日当たり、親族との距離、駅
15. 住まいの評価：総合的に満足34.0%、**やや満足を含めると、83.5%**
16. 近居親族：**親64.3%** 兄弟姉妹11.9%、近くにいない16.2%
17. 親族との距離：徒歩23.4%
18. 交流頻度：週2回以上16.3%、週1回18.3%、2週に1回程度12.2%を合わせて48.9%
19. 子育て手助け依頼：**46.2%** 親の介護や支援は殆どなし
20. 居住継続意向：継続居住47.8% **「当分住み続ける」を合わせると90.3%**